

神戸女子短期大学の学生が日本ビジネス実務学会 近畿ブロック研究会の「学生プレゼンテーション大会」で最優秀賞を受賞

平成28年2月14日(日)日本ビジネス実務学会 近畿ブロック研究会主催「学生プレゼンテーション大会」において、神戸女子短期大学総合生活学科1年生(当時)の足立 優奈さんが最優秀賞に輝きました。

「クラブ活動での取り組み -苦手な英語を大好きに-」という題名で、プレゼンテーションと質疑応答を各5分間行い、ESSクラブに入学した目的や活動の紹介、英語を使いこなすことで広がる将来の夢について発表しました。

足立さんは、イギリスのビスケットやクッキーが、おしゃれでかわいらしい箱や包装で発売されていることに惹かれ、自分も海外で食品のパッケージをデザインする仕事に就きたいと考えています。さらに、高校時代の茶道部で好きになった和菓子の素晴らしさも外国の人に伝えたいという目標があります。そのために日頃から語学力を磨くだけでなく、プレゼンテーションの能力も必要だと考え福井 愛美教授の「プレゼンテーション演習」を履修しました。

大会に向けて、原稿の推敲を重ねリハーサルを繰り返しました。本番は大学教員が聴衆で最初は緊張しましたが、しだいに楽しみながらプレゼンテーションを行う余裕ででき、練習の成果を十分に発揮し最優秀賞を受賞することができました。

夢を実現させるため、2年生ではゼミでも英語と英語圏の文化を勉強し、対話も高めるよう努力し充実した日々を送っています。



表彰状を持つ足立優奈さんと「プレゼンテーション演習」担当の福井愛美教授



学生プレゼンテーション大会で発表する足立優奈さん

管理栄養士養成課程の学生

平成27年度専門フードスペシャリスト資格認定試験 成績優秀で表彰される

平成27年12月20日(日)に実施された公益社団法人日本フードスペシャリスト協会の「専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験」^(注)において、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程3年生(当時)の稲見 真理さんが、特に優秀な成績で合格した者数名に贈られる最優秀賞を受賞しました。

稲見さんは、管理栄養士の資格をもった家庭科の教諭を目指しています。家庭科は、「衣・食・住」を始め、育児、高齢者の介護、社会保障に至るまで生涯にわたり人の生活の営みと密接にかかわる科目です。「食」と「栄養」の専門的な分野に精通し幅広い知識をもつ教員になりたいと、稲見さんは思いフードスペシャリストの資格を取ることを決意。1年生の時から過去の問題を解き試験の準備を始めました。この資格認定試験の勉強は専門分野の学習にも役立ち、食品の流通、マーケティング、食卓のコーディネイト、マナーなどの知識を身につけることができました。

現在は、教員採用試験、管理栄養士国家試験の合格を目指し日々、勉学に励んでいます。

(注) 資格取得には、同協会の正会員の大学・短期大学で「フードスペシャリスト養成機関」として認定された特定の学科で所定の科目を履修し、試験に合格すれば卒業時に資格認定証が交付される。従来のフードスペシャリストから、より高い専門的な知識と技能を備えていると認定するために平成26年度から、専門フードスペシャリスト(食品開発)資格と専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格の認定試験が行われている。



学習中の稲見真理さん



稲見さんの受賞を祝う中島實学長(中央)とフードスペシャリスト委員会の教員(右から清水典子准教授、後藤昌弘教授、林利恵子准教授)

